



株主通信

第64期 報告書 2025.1.1 ▶ 2025.12.31

P8 »

中期経営計画(2024年～2028年)
2026年度株主優待制度のご案内

P10 » 特集

LOOK Group事業トピックス
LOOK Groupのサステナブルな取り組み
株主様アンケート結果報告

株式会社 ルックホールディングス

Brand Information ブランドのご紹介



イルビゾンテ

イタリア・フィレンツェ発バッグ・革製品ブランド。タンニン鞣しを施した良質なレザーは、上品な表情でありながらタフ、そして使い込むほどにエイジングが楽しめます。



イルビゾンテ ウォモ

2008年秋冬コレクションからスタートした、メンズライン。創業者ワニー・ディ・フィリップのユニークなデザインはそのままに、洗練されたメンズアイテムをご紹介します。



イルビゾンテ ジュエリー

創業者ワニー・ディ・フィリップが長く尊んできた価値観を、スターリングシルバーに込めて表現した、ブランド初のジュエリー。



スマイソン

1887年創業の伝統とクラフツマンシップに裏打ちされた、上質でモダンなステーションリー&レザーグッズブランド。2025年1月より独占輸入販売をスタートいたしました。



2025年
スタート



SCAPA

スカパ

1967年創設 ファッション都市アントワープ発信のブランド。



KEITH

キース

プリティッシュトラディショナルを継承しながら進化を続けるキースは、自分らしさを常に意識する女性の為のブランドです。



marimekko

マリメッコ

独創的なプリントや色使いによって世界中に広く知られるフィンランドのデザインハウス。



A.P.C.

アー・ペー・セー

本質的なエレガンスを追求した、ミニマルかつトラディカルなモダン・フレンチスタイルを提案。



A.P.C.

アー・ペー・セー ゴルフ

A.P.C.が追求するエッセンスにユーモラスな要素を加え、コースと日常のどちらでも楽しめるゴルフウェアライフスタイルを提案。



lepetto

PARIS

レペット

1947年、ローズ レペットがダンスシューズをデザインしたことから始まったブランド。伝統的な技術を用いて手作りされた靴は、確かなクオリティと美しさを約束します。



CLAUS PORTO

クラウス ポルト

130年以上の歴史があるポルトガルのボディケアとフレグランスのブランド。ポルトガルの香りや風景からインスピレーションを得たフレグランスをベースに、様々な商品を展開しています。





ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの第64期(2025年1月1日から2025年12月31日まで)における事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後も、当社グループは「お客さま第一主義」のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **澁谷 治男**

当期の事業環境と業績の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策により緩やかな回復の動きが見られました。一方、米国の通商政策の影響や恒常的な物価上昇に伴う実質賃金の減少により個人消費が伸び悩んだほか、世界経済の減速懸念等による景気を下押しするリスクの高まりもあり、依然として不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、訪日外国人によるインバウンド消費の減速や生活防衛意識の更なる高まりに加え、天候不順の影響により季節商品の売上が伸び悩み、弱含む状況が続きました。

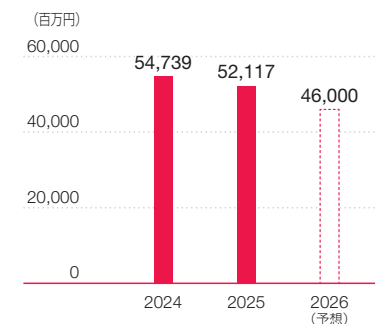
このような状況の中、当社グループは、2028年を最終年度とする中期経営計画の基本政策に掲げる「収益基盤の更なる拡大」、「資本政策の充実化」、「ESG戦略の強化」に取り組んでおります。安定した事業基盤の構築として、主力インポートブランドの積極的な新規出店やブランド価値向上を目的としたコラボレーション施策等を実施、またEC事業におけるOMO施策を推し進めてまいりました。

その結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は521億1千7百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は17億5千9百万円(前年同期比30.5%減)、経常利益は20億8千6百万円(前年同期比27.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は14億7千4百万円(前年同期比23.4%減)となりました。

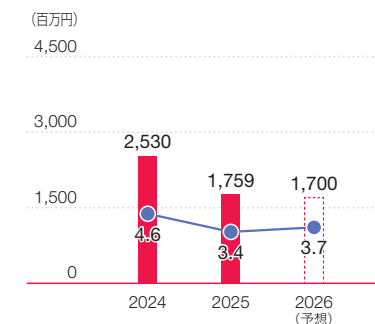
財務ハイライト(連結)

当期の業績			
売上高	521億1千7百万円	経常利益	20億8千6百万円
営業利益	17億5千9百万円	親会社株主に帰属する当期純利益	14億7千4百万円

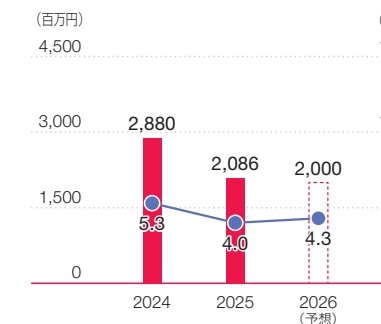
■売上高



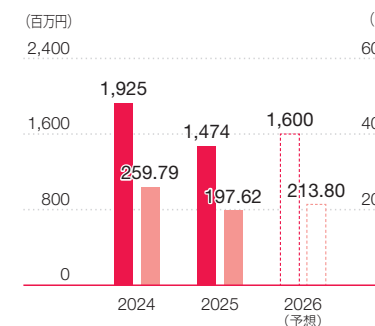
■営業利益 ●営業利益率



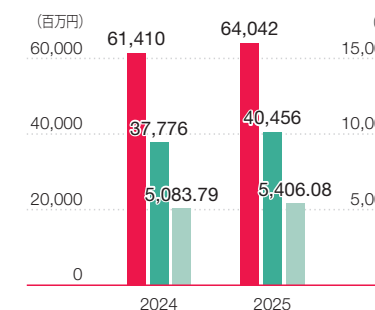
■経常利益 ●経常利益率



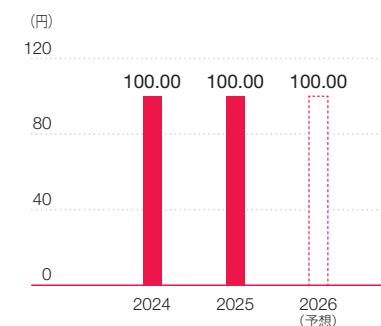
■親会社株主に帰属する当期純利益
■1株当たり当期純利益



■総資産 ■純資産 ■1株当たり純資産



■1株当たり配当金

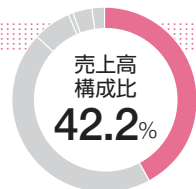


セグメント別業績の概況 ※売上高および売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

アパレル関連事業

日本

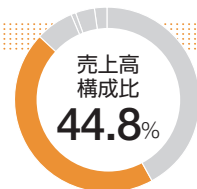
- 売上高 **243億2千8百万円**
(前年同期比0.3%増)
- 営業利益 **17億3千8百万円**
(前年同期比3.8%減)



主カインポートブランドにおいて、積極的な新規出店やコラボレーション施策等の取り組みにより堅調に推移いたしました。「イル ビゾンテ」においては、年間を通じて折り財布やカードケースなどのスモールレザーグッズの販売が好調に推移したことに加え、ブランド創業55周年を記念した日本限定コレクションや新規出店が寄与したことにより、好調に推移いたしました。「マリメッコ」においては、デニムコレクションや日本限定のコートなどの重衣料の販売が好調に推移したほか、ECサイトでの限定商品の展開や先行販売を実施した結果、売上高が堅調に推移いたしました。「A.P.C.」においては、日本限定を含むデニム商品の販促施策や米国のバックパックブランド「GREGORY(グレゴリー)」とのコラボレーション施策を実施するなど、ブランド価値向上に取り組みました。一方、アパレルブランドでは、天候不順により春及び秋物商品の販売が苦戦いたしました。また、専門店からの受注減により卸売販売が減少した結果、売上高は243億2千8百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は17億3千8百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

韓国

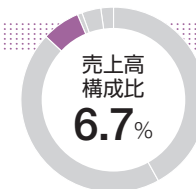
- 売上高 **258億2千6百万円**
(前年同期比9.1%減)
- 営業利益 **9億2百万円**
(前年同期比44.8%減)



新政権による民生・内需支援策により、民間消費における一時的な持ち直しの動きが見られました。一方、米国の通商政策の影響やウォンの下落基調等、景気を下押しするリスクは払拭されておらず、依然として不透明な状況が続きました。株式会社アイディールック、株式会社アイディージョイにおきましては、自社ECサイトの「I.D.LOOKモール」やアウトレットでのセール販売が拡大いたしました。秋物販売の不振に加えて、為替レートの変動によるマイナスの影響が業績を押し下げました。その結果、売上高は258億2千6百万円(前年同期比9.1%減)、営業利益はセール販売比率の増加に伴い粗利益率が低下したことなどにより、9億2百万円(前年同期比44.8%減)となりました。

欧州

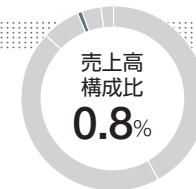
- 売上高 **38億2千4百万円**
(前年同期比4.9%増)
- 営業損失 **1億8千3百万円**
(前年同期は2億3千6百万円の営業損失)



主力の卸売事業において、欧州域内の受注額が減少したものの、日本の受注額が増加いたしました。また、主にイタリアの直営店が観光需要を背景に堅調に推移した結果、売上高は38億2千4百万円(前年同期比4.9%増)、営業損失は1億8千3百万円(前年同期は2億3千6百万円の営業損失)となりました。

その他海外

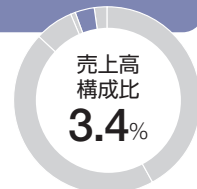
- 売上高 **4億5千9百万円**
(前年同期比12.0%増)
- 営業損失 **2千6百万円**
(前年同期は5千7百万円の営業損失)



米国において、「イル ビゾンテ」の卸売事業が堅調に推移した結果、売上高は4億5千9百万円(前年同期比12.0%増)、営業損失は2千6百万円(前年同期は5千7百万円の営業損失)となりました。

生産及びOEM事業

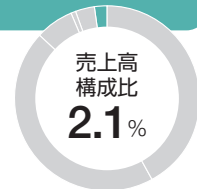
- 売上高 **19億6千6百万円**
(前年同期比17.3%減)
- 営業利益 **2千8百万円**
(前年同期比31.2%減)



株式会社ルックモードにおいて、グループ内及び外部への売上高がともに減少した結果、売上高は19億6千6百万円(前年同期比17.3%減)、営業利益は2千8百万円(前年同期比31.2%減)となりました。

物流事業

- 売上高 **12億2千2百万円**
(前年同期比6.6%増)
- 営業利益 **3千7百万円**
(前年同期比140.4%増)



株式会社エル・ロジスティクスにおいて、グループ内及び外部への売上高が増加した結果、売上高は12億2千2百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は3千7百万円(前年同期比140.4%増)となりました。

次期の見通し

2026年度のわが国経済の見通しにつきましては、内需を中心に、消費者物価上昇率の鈍化傾向等による実質賃金の改善を背景に緩やかな回復が期待される一方、米国による通商政策や日中関係の悪化、地政学リスク等依然として景気の下振れリスク要因も多く、先行きについては予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況において、当社グループは、2028年を最終年度とする中期経営計画の3年目を迎えるにあたり、引き続き日本と韓国における主力ブランド等の積極的な新規出店を推し進め、更なる収益基盤の強化に取り組んでまいります。中期経営計画における出店政策につきましては、日本国内で25店舗、韓国を中心とする海外において15店舗を既に出店し、計画を上回るペースで推移しております。2026年度においては、日本国内で9店舗、海外において7店舗の出店を計画しており、収益性を高め、安定した事業基盤の構築を推し進めてまいります。また、新規エリアへの販路拡大として、株式会社アイディールックによる東南アジア地域での「A.P.C.GOLF」の卸売販売を計画しております。

2026年12月期の連結業績見通しにつきましては、株式会社アイディールックにおけるSMCP Holding SASとの独占販

売契約終了の影響により、韓国事業の売上高が前年に対して80億円減少する見込みです。この状況を踏まえ、連結売上高460億円(前年同期比11.7%減)、連結営業利益17億円(前年同期比3.4%減)、連結経常利益20億円(前年同期比4.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益16億円(前年同期比8.5%増)を計画しております。

当社グループでは、更なる企業価値向上を実現すべく、中期経営計画の各施策を実行し、安定的な利益構造の確立に向けた事業戦略と効率運営を推し進め、中期経営計画最終年度の2028年には、連結売上高700億円、連結営業利益50億円を目指してまいります。

次期の配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策のひとつであると認識し、財務体質の強化、積極的な事業展開に備える内部留保の充実を図りつつ、収益状況を勘案しながら利益配分を実施することを基本方針としております。

2026年度12月期の配当(予想)につきましては、上記の基本方針に沿って1株当たり100円を予定しております。

業績予想(連結)

売上高	460億円	(前年同期比 11.7%減)	経常利益	20億円	(前年同期比 4.1%減)
営業利益	17億円	(前年同期比 3.4%減)	親会社株主に帰属する当期純利益	16億円	(前年同期比 8.5%増)

中期経営計画 (2024年～2028年)

当社は、2028年を最終年度とする中期経営計画(2024年～2028年)を策定しました。

長期ビジョンである「お客さまに末永く愛されるライフスタイル創造企業」のために、本中計期間では「収益基盤の更なる拡大と資本政策の充実化、ESG戦略の強化」を行います。

詳しくはこちら



収益基盤の確立

2019年～2023年

本中計期間
収益基盤の更なる拡大と
資本政策の充実化、
ESG戦略の強化

2024年～2028年

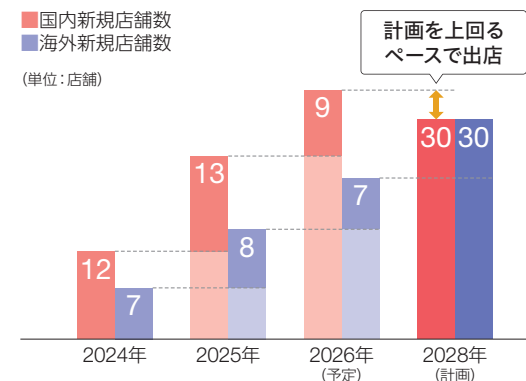
お客さまに
末永く愛される
ライフスタイル
創造企業へ

2029年～2033年

中期経営計画の進捗について

- 国内事業は堅調に推移した一方、海外における韓国事業の苦戦などの影響により2025年期中計画ならびに前年実績を下回って終了しております。
- 主力事業における出店政策については、国内を中心に計画を上回るペースで進捗しております。

国内・海外 主力ブランドの新規出店推移



見通しとの変化点・進捗

外部環境変化

- 株式会社アイディールックにおけるSMCP Holding SASとの独占販売契約終了

今後の見通し

- 2026年度は主カインポートブランドにおいて、国内9店舗、海外7店舗の新規出店を計画しております。これにより収益性を高め、安定した事業基盤の構築を推し進めてまいります。
- 新規エリアへの販路拡大として、株式会社アイディールックによる東南アジア地域での「A.P.C.GOLF」の卸売販売を計画しております。

2026年度 株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、より多くの株主様に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として、株主優待を実施しております。



詳しくはこちら

優待内容

- 1 **LOOK@E-SHOP**でのご利用 > ルックグループのショッピングサイト「LOOK@E-SHOP」(<https://www.e-look.jp>)にてご利用いただけます。
- 2 **優待商品交換サイト**でのご利用 > 食品や人気ブランドのセット商品などが金額ごとに選べます。2025年度よりカート機能が追加されました。
- 3 **一部店舗**においてのご利用 > 随時利用可能店舗を更新しております。詳しくはこちらをご確認ください。
https://www.look-holdings.jp/irinfo/investors/pdf/stores_using_shareholder_benefit_coupons.pdf



2026年度お得なお楽しみ詰め合わせパックの一例

ブランドは、「イル ビゾンテ」「マリメッコ」「A.P.C.」の3つからお選びいただけますが、商品内容をお選びいただくことはできません。

4,000円お楽しみ詰め合わせパック(1万円相当)



A.P.C. (アー・ペー・セー)



Marimekko (マリメッコ)

8,000円お楽しみ詰め合わせパック(2万円相当)



IL BISONTE (イル ビゾンテ)



Marimekko (マリメッコ)

(写真はイメージです。)

「株主優待商品交換サイト」2025年度株主優待商品人気トップ3！



1

お楽しみ
詰め合わせパック
マリメッコ
(4,000円)



2

フード
うなぎ蒲焼き
(4,000円)
2尾(220g)



3

お楽しみ
詰め合わせパック
イルビゾンテ
(4,000円)

※2025年度の株主優待対象商品です。
(写真はイメージです。)

特集

1

LOOK Group 事業トピックス

新ブランド・新事業の開拓

●新ブランド「SMYTHSON」の展開



株式会社ルックは、2025年1月より、英国発のステーショナリー、レザーグッズブランド「SMYTHSON(スマイソン)」の展開をスタートいたしました。1887年にイギリスにて創業した「SMYTHSON(スマイソン)」は、その卓越した技術と高い品質でイギリス王室をはじめとする世界中の著名人に愛されています。シンプルかつエレガントなデザインが特徴で、すべてのアイテムは細部まで丁寧に仕上げられ、耐久性と美しさを兼ね備えています。2025年は伊勢丹新宿店への出店や、GINZA SIX等での期間限定店舗を展開しました。2026年は名古屋エリアでの新規出店を予定しています。(画像:「SMYTHSON(スマイソン)」日本橋三越本店)

主力ブランドのブランド価値向上のための取り組み

●主力ブランドの積極的な新規出店

主力のインポートブランドにおいて、2025年に13店舗の新規出店を行いました。(左から:「イル ビゾンテ minamoa広島店」、「A.P.C. NEWOMAN TAKANAWA店」、「マリメッコ日比谷店」)

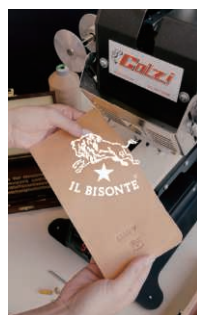


主カブランドのブランド価値向上のための取り組み



● コラボレーションやイベントの実施

「イル ビゾンテ」では、米国のバックパックブランド「GREGORY」と2年ぶりとなるコラボレーション商品を販売しました。また、日本初となるイタリアの職人の技術を披露するイベントを3店舗にて実施し、ワークショップやライブデモンストレーションを通じてお客さまにブランドのストーリーをご体感いただきました。「マリメッコ」は、東京・四谷にある老舗ジャズ喫茶・バー「いーぐる」にて、「バー・ユニッコ」イベントを開催しました。店内にはユニッコモチーフの装飾やホームウェアが展示され、音楽とデザインが響き合う最高のひとときを提供しました。「A.P.C.」は、総合スポーツ用品メーカー「ASICS」とコラボレーションしたオンコートとオフコートそれぞれのシーンに合わせた“テニスコレクション”を発売しました。



● 節目を迎えたブランド

イル ビゾンテ 1970年、創業者Wanny Di Filippo(ワニー・ディ・フィリッポ)が、その妻とフィレンツェでスタートさせたクラフツマンシップ溢れるバッグ・革製品ブランド「イル ビゾンテ」は、2025年に創業55周年を迎えました。これを記念したマンスリートートバッグや、特別な仕様の日本限定商品を展開しました。



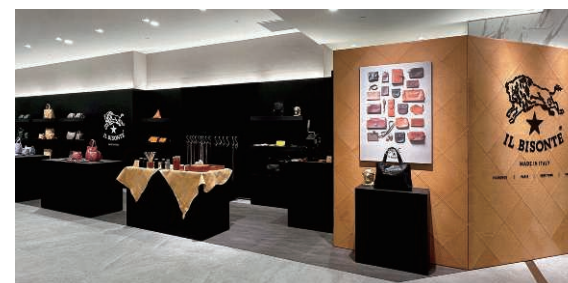
キース キースは、1985年の誕生から40年に渡り、“British Traditional”をコンセプトに、着る人の心が満たされるファッションを創り続けてきました。英国淑女たちのライフスタイルを通して、これからもプリティッシュトラディショナルの深い味わいをお届けします。ブランド誕生40周年記念商品や、カスタマイズオーダーを実施し、ブランドの節目をお客さまとともに祝う特別なサービスを展開しました。



海外事業

● 韓国事業：強化ブランドの新規出店

韓国の株式会社アイディールックは、2006年創業のイタリア発コンテンポラリーブランド「ELEVENTY(イレブンティ)」において、3店舗の新規出店を行いました。また、「A.P.C.」は、3店舗の新規出店を行い、基幹店である「新世界江南店」において、新デザインを採用しリニューアルを実施しました。(画像左から：「ELEVENTY 新世界江南店」、「A.P.C.新世界江南店」)



● 海外進出：シンガポール高島屋

Il Bisonte S.p.A.は、ルックグループにおける主カブランドの海外新規エリア進出の第一歩として、2025年3月から半年間、シンガポール高島屋にて期間限定イベントを展開しました。今後も、東南アジアを中心とした販路の拡大に取り組んでまいります。

デジタルマーケティングの強化

● OMOの推進 A.P.C.の店舗取り置きスタート

OMOの推進として、「A.P.C.」の一部対象店舗において、ROS(リクエストオーダーシステム)を導入しました。ご希望の商品を対象店舗で取り置き、実際に店舗で確認して購入いただける会員限定のサービスで、お客さまの利便性向上や購買体験の向上に繋がりました。これにより、店舗取り置きサービスは、国内主力3ブランドにてご利用が可能となりました。



ルックグループの「サステナビリティ・CSR」についてはこちら



2025年健康経営優良法人認定



ルックグループは、経済産業省と日本健康会議が共同で主催する「健康経営優良法人認定制度」において、【健康経営優良法人2025(大規模法人部門)】に認定されました。私たちの企業活動の根幹には、従業員の「こころと身体の健康」があり、その活力が個々の能力や個性を最大限発揮し、ひいては企業価値を最大化するものと考えています。

ルックグループは、企業価値の最大化に向けて、会社・健康保険組合・労働組合が三位一体になり、従業員の健康増進と働きがいのある環境の整備を実現すべく今後も健康づくりを推進していきます。

A.P.C.VINTAGEの実施

「A.P.C.」では、パリの「A.P.C.VINTAGEストア」に倣い、ご不要になったA.P.C.のウェアを回収し、引き取る製品に応じたポイントを付与する「A.P.C.VINTAGE」プロジェクトを期間限定で実施しています。回収したA.P.C.のヴィンテージアイテムは、クリーニングを施し、一部の店舗にて再販売されます。2025年は本プロジェクトを合計4店舗にて実施し、多くのお客さまにご参加いただきました。A.P.C.では今後も、環境に配慮した様々な取り組みを通じて、創造性、シンプルさ、持続可能性の最良のバランスを目指してまいります。

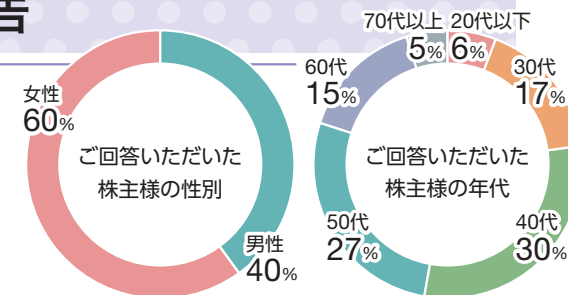


Il Bisonte S.p.A.での工場見学の実施

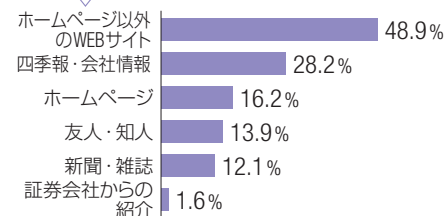


イタリアのIl Bisonte S.p.A.は、日本の上田女子服飾専門学校の学生を招き、工場見学を実施いたしました。本見学は、未来のファッション産業を担う学生の皆さまに、ものづくりの楽しさや、製品を長く大切に使うという価値観を伝えることを目的に実施したものです。Pontassieve工場では、製造工程の見学や革のプレスレットづくりを通じて、「イル ビゾンテ」が大切にしてきたフィレンツェの職人の揺るぎない伝統へのこだわりと、妥協なき手仕事が生み出す本物の“メイド・イン・イタリア”を体験いただきました。今後も、次世代を担う学生や地域社会との交流を通じて、クラフツマンシップの魅力と、長く愛される製品づくりの精神を発信し続けてまいります。

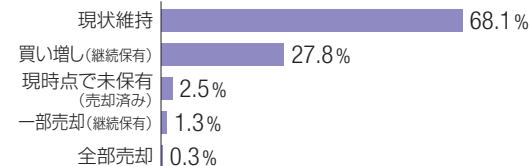
2025年9月～2025年10月にかけて実施いたしました「株主様アンケート」では、多くの株主の皆様からご回答を頂戴いたしました。皆様のご協力に感謝を申し上げますとともに、頂戴しました貴重なご意見は今後のIR活動等の参考とさせていただきます。以下に、今回の「株主様アンケート」の結果の一部を掲載いたします。



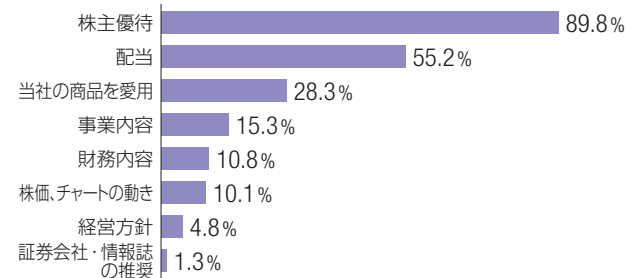
Q 当社株式を購入・取得されるきっかけとなったものは何ですか?(複数回答可)



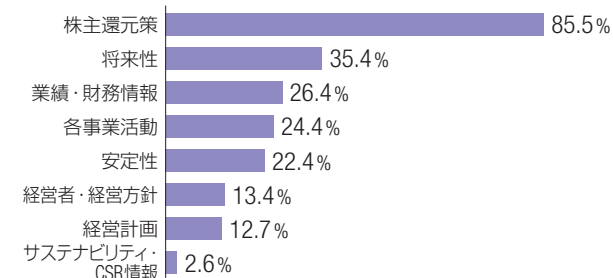
Q 今後の当社株式の保有方針について次のうちから1つお選びください。



Q 当社株式を購入された際、重視されたポイントをお聞かせください。(複数回答可)



Q 当社において、どのような点について関心をお持ちですか?(複数回答可)

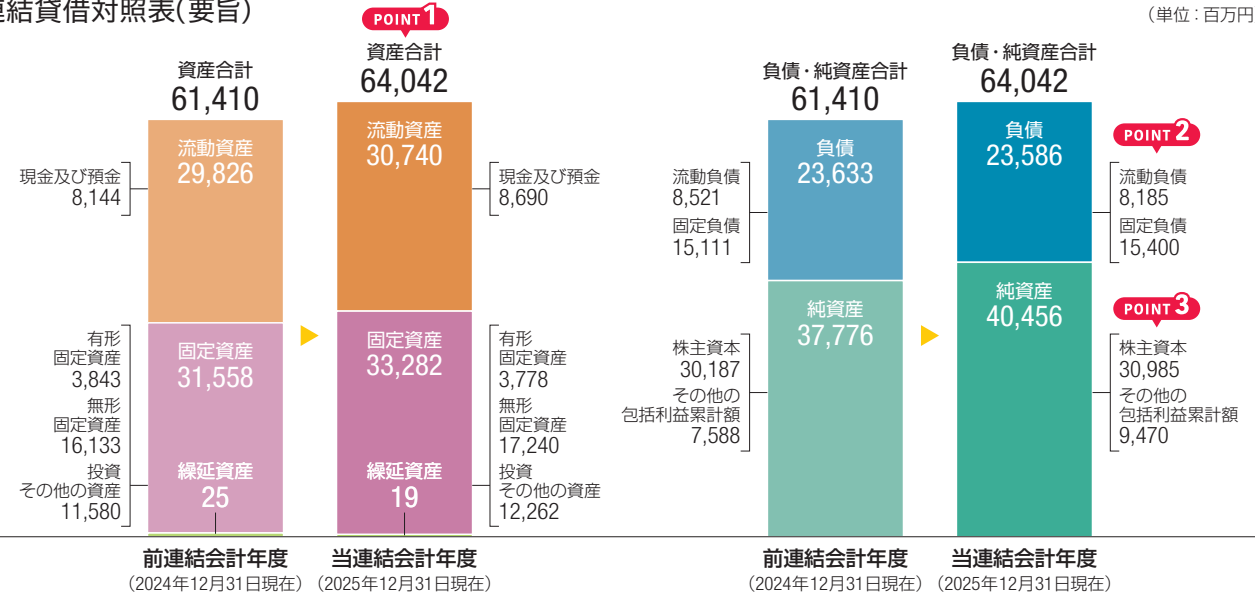


担当者からひとこと

今回も多くの株主様にご回答いただきましたこと、改めまして感謝申し上げます。当社株式を購入された際に重視されたポイントとして「株主優待」や「配当」に次いで「当社の商品を愛用」とご回答いただいた方の割合が増えており、当社の取り扱いブランドをご愛用いただいている株主様が多いこともうかがい知ることができました。このようなお声は、私たちにとって大きな励みであると同時に、事業活動の原動力でもあります。今後も、株主の皆様へ、長くご支持いただける商品・サービスの提供に努めるとともに、企業価値の更なる向上を目指してまいります。

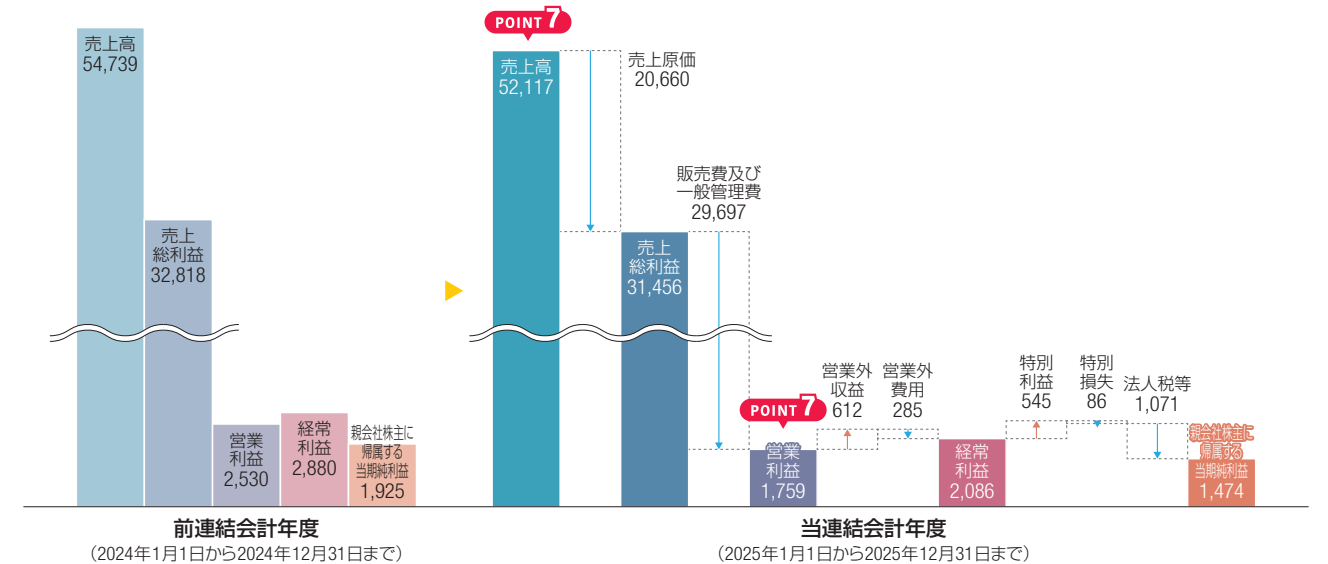
連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)



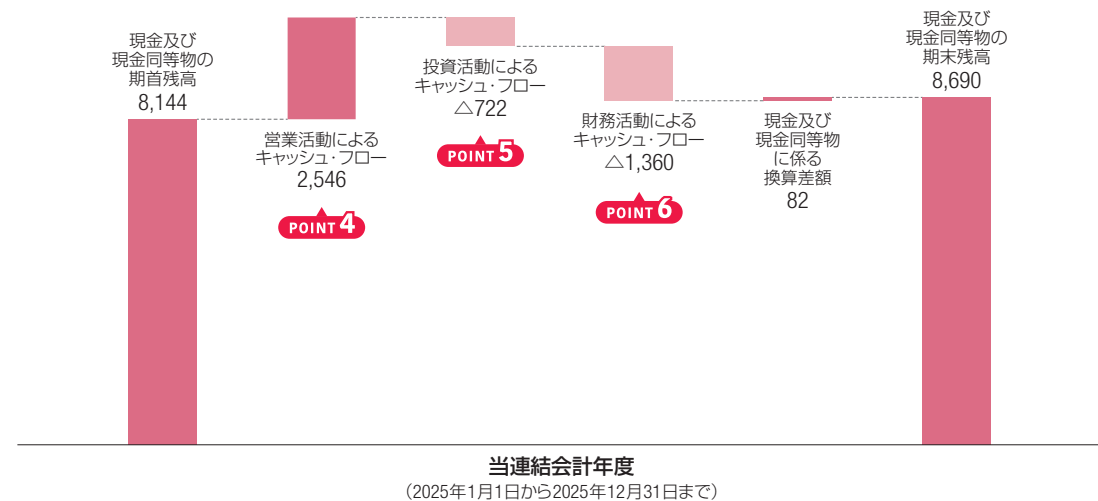
連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)



POINT 1 資産の部

現金及び預金が5億4千6百万円、商品及び製品が7億7千3百万円、マーケティング関連資産が8億5千2百万円、退職給付に係る資産が6億8千7百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ26億3千2百万円増加しました。

POINT 2 負債の部

繰延税金負債が4億2千4百万円、未払法人税等が1億5千2百万円、未払費用が1億1千4百万円、それぞれ増加しましたが、支払手形及び買掛金が3億5百万円、借入金が4億3千6百万円、それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ4千7百万円減少しました。

POINT 3 純資産の部

為替換算調整勘定が16億5千1百万円、利益剰余金が6億9千8百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ26億7千9百万円増加しました。

POINT 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益は25億4千5百万円となり、増加要因として非資金項目である減価償却費17億3千5百万円、のれん償却費2億8千5百万円、減少要因として仕入債務の減少5億7千6百万円、法人税等の支払額10億1千3百万円などにより、25億4千6百万円の収入となりました。

POINT 5 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出8億8千1百万円などにより、7億2千2百万円の支出となりました。

POINT 6 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払7億7千4百万円、借入金の返済による支出5億6千5百万円などがあったことにより、13億6千万円の支出となりました。

POINT 7 売上高、営業利益

売上高は、国内事業が堅調に推移した一方、海外における韓国事業の苦戦などの影響により、前年同期比4.8%の減少となり、営業利益は、売上高の減少に加え、セール販売比率の増加に伴い粗利益率が低下したことなどにより、前年同期比30.5%の減少となりました。

会社の概要

商号	株式会社ルックホールディングス
設立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資本金	64億7,674万円
主要な事業内容	グループ会社の経営管理等
従業員数	884名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本店	東京都港区赤坂8丁目5番30号

主要グループ会社

2026年3月27日現在

アパレル関連事業

日本	株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社
韓国	株式会社アイディールック 株式会社アイディージュイ
欧州及び その他海外	Il Bisonte S.p.A.
生産及びOEM事業	株式会社ルックモード
物流事業	株式会社エル・ロジスティクス

役員構成

2026年3月27日現在

代表取締役会長	多田 和洋
代表取締役社長	澁谷 治男
常務取締役	斉藤 正明
社外取締役	井上 和則
社外取締役	秋葉 絢子
常勤監査役	宇野澤 博文
常勤監査役	水野 信之
社外監査役	服部 滋多
社外監査役	森居 達郎

(注)1. 取締役 井上和則および秋葉絢子の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 服部滋多および森居達郎の両氏は、社外監査役であります。
3. すべての社外取締役および社外監査役を株式会社東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

株式情報

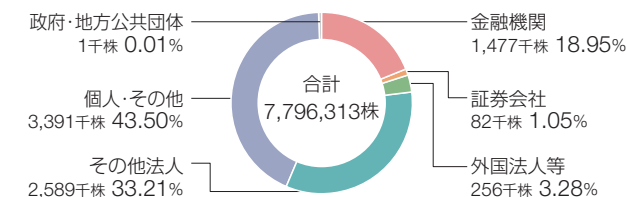
2025年12月31日現在

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,796,313株
株主数	16,552名
大株主	

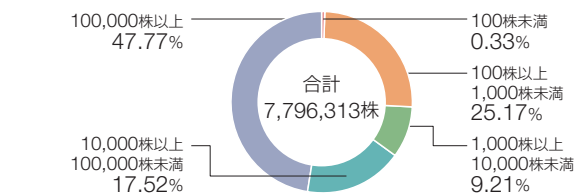
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
八木通商株式会社	781	10.03
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	523	6.72
美津濃株式会社	369	4.74
三共生興株式会社	249	3.21
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	247	3.18
ルックホールディングス従業員持株会	185	2.38
UAゼンセンルックユニオン	158	2.04
住友生命保険相互会社	154	1.98
株式会社ヤギ	145	1.86
特定金外信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	141	1.82

(注)持株比率は、自己株式(12,199株)を控除して計算しております。

所有者別状況(株式数比率)



所有株数別状況(株式数比率)



*自己株式12,199株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「10,000株以上100,000株未満」に含まれております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 https://www.look-holdings.jp/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

IR情報

IR情報ではトップメッセージ、個人投資家情報、決算短信などの各種IR資料やプレスリリース、株価情報など最新情報を掲載していますので、ぜひ一度当社のIRページをご覧ください。

▼QRコード



<https://www.look-holdings.jp/irinfo/>

ルックがお届けするファッションブランド公式通販サイト

「ルックアットイーショップ」

LOOK@E-SHOP

お客様のライフスタイルに合わせ、パソコンやスマートフォンなどからいつでもショッピングをお楽しみいただけます。

<https://www.e-look.jp>

▼QRコード



最新ブランドニュースなど多彩な情報が満載

会社情報、トピックス、採用情報などの最新情報をお届けしています。

▼QRコード



<https://www.look-holdings.jp>



株式会社 ルックホールディングス
〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番30号



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。